

【報道関係各位】

## 地デジに関する調査

- 2台目のテレビが「地デジに未対応」の人は、約2割
- 地デジ対応後、「テレビを見る時間が増えた」約2割。「録画が増えた」約4割
- ‘地デジ放送’の満足度は、7割超
- 地デジになって、今後のテレビに「期待している」56%

2011年7月21日  
株式会社マクロミル

インターネット調査会社の株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表：杉本哲哉）は、全国の20才以上の男女に、「地デジに関する調査」を実施いたしました。7月24日のアナログ放送終了を目前に、地デジ対応の実態および、テレビ視聴に関して調べました。

調査手法はインターネットリサーチ。調査期間2011年7月14日（木）～7月16日（土）。有効回答数は520名から得られました。

## 【調査結果概要】

### 【1】 2台目のテレビが「地デジに未対応」の人は、約2割

全国の20才以上の男女に、家庭のテレビを地上デジタルテレビ放送に対応させたかどうかを尋ねたところ、主利用のテレビ（1台目）が地デジに対応している割合は96%、2台目のテレビは80%、3台目は71%、4台目は63%となりました。1台目については「今後対応する予定」も含めると99%に達しています。2台目が「地デジに未対応」の割合は約2割で、3台目は3割と台数が増えるほど未対応率が高くなっています。2台目以降のテレビにおいて「地デジに対応させる予定はない」という回答もあり、家庭のテレビの台数自体を減らす人もいます。

### 【2】 地デジ対応後、「テレビを見る時間が増えた」約2割。「録画が増えた」約4割

自宅のテレビを地デジ対応させた前後でのテレビ視聴態度に関する変化を尋ねたところ、「テレビを見る時間（録画、リアルタイムは問わず）」が「増えた（増えた＋やや増えた）」という回答は18%でした。「録画したテレビ番組を見る時間」については「増えた」という回答が41%、「とりあえず録画する番組」が「増えた」は37%、「BS、CS放送を見る時間」が「増えた」は28%となっています。地デジ対応で、機能性の高いテレビへの買い替えや録画機器の購入が進みテレビ視聴スタイルが多様化しているようです。

### 【3】 ‘地デジ放送’の満足度は、7割超

テレビの地デジ対応を終えている人に、地上デジタルテレビ放送に対する満足度を尋ねたところ、「満足」と回答した人は43%、「やや満足」が30%となっており、合計で74%が満足している結果となりました。どのような点に満足しているかを尋ねると、「高画質・高音質」が最多で76%、次いで「テレビ画面で番組表が見れる（EPG）」が56%、「データ放送」が37%でした。

### 【4】 今後のテレビ放送に「期待している」56%

7月24日の地デジ化にともない、今後のテレビに対する期待度について尋ねました。「非常に期待している」と回答した人は11%、「やや期待している」は45%となっており、合わせて56%の人が期待しているようです。期待する内容を具体的に尋ねると、「放送と通信の融合」「双方向のやりとりで視聴者参加型の番組が増えること」「テレビで買い物等が簡単にできるようになる」「テレビ画質が向上したことを意識した番組作り」「チャンネル数が増えること」など、様々な意見があがりました。

「地デジに関する調査」

【調査結果詳細】

■ 調査概要

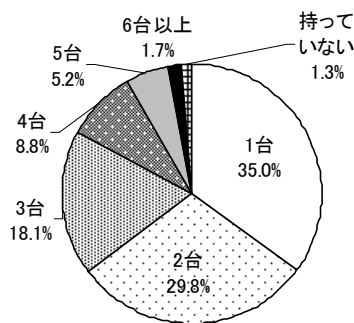
調査方法:	インターネットリサーチ							
調査地域:	全国							
調査対象:	20才以上の男女(マクロミルモニタ会員)							
有効回答数:		20代	30代	40代	50代	60才以上	小計	合計
	男性	52s	52s	52s	52s	52s	260s	520s
	女性	52s	52s	52s	52s	52s	260s	
調査日時:	2011年7月14日(木)~7月16日(土)							
調査機関:	株式会社マクロミル							

I. 自宅のテレビについて

■ 自宅のテレビ所有台数は、「1台」が35%、「2台」が30%

全国の20才以上の男女に、自宅にテレビが何台あるか尋ねたところ、「1台」が35%、「2台」が30%、「3台」が18%となりました。【図1】

【図1】テレビの所有台数(n=520)  
Q. あなたの自宅にテレビは何台ありますか。  
※地デジ未対応のテレビやテレビチューナー内蔵デスクトップ型パソコンも含めてお答えください。  
※壊れたテレビおよび、ワンセグは除く



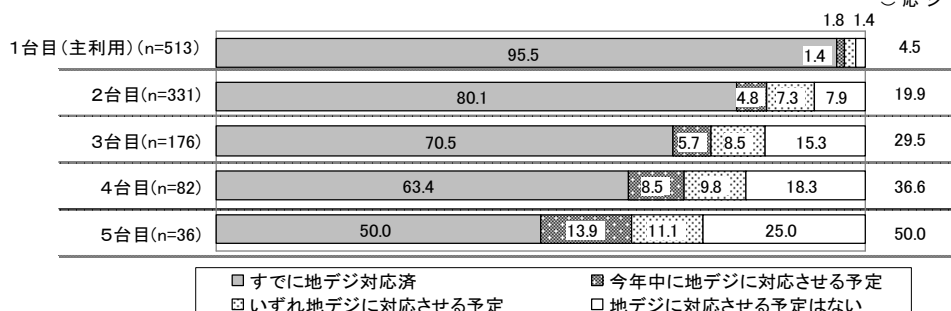
※四捨五入の関係で足して100%にならないことがあります

■ 2台目のテレビが地デジに「対応していない」人は、約2割。

所有しているテレビについて、地デジに対応しているか尋ねたところ、メインで利用しているテレビ(1台目)が地デジに対応している割合は96%でした。2台目以降は地デジ対応率が徐々に下がり、2台目は2割が未対応、3~4台目は3割、5台目は5割が未対応となっています。

今後地デジに対応させる予定についても同様の傾向で、2台目は予定を含めた地デジ対応率が92%、3台目は85%、4台目は82%、5台目は75%となっています。【図2】

【図2】テレビごとの地デジの対応の有無  
Q. あなたの自宅のテレビは地デジに対応していますか。  
※外部機器(HDDレコーダーや外付けチューナーなど)を利用している視聴も含む。※よくみる順にお答えください。



## II. 地デジ化について

### ■ テレビ（主利用）の地デジ対応を行った時期は「2010年以降」が約6割。

地デジ対応を終えている人に、主利用のテレビをいつ地デジに対応させたかを尋ねたところ、「2011年4月以降」が10.0%、「2011年1～3月」が8.4%で2011年に入ってから地デジ対応させた人は合わせて18.4%でした。また、「2010年」が39.4%となっており、2010年以降に地デジ対応した人は合計で57.8%となりました。

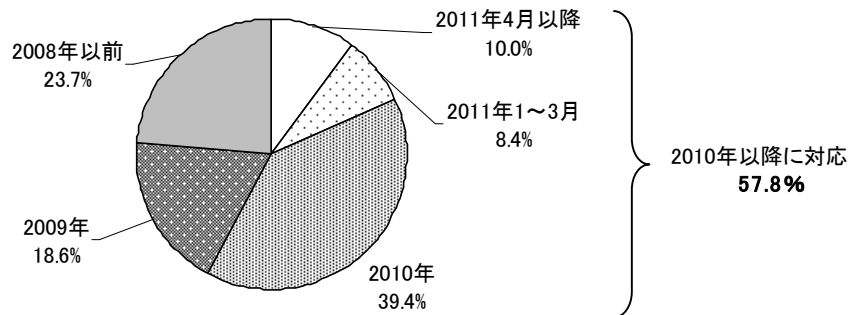
【図3】

【図3】テレビを地デジに対応させた時期

(ベース：n=490/テレビが地デジ対応となっている人)

Q.あなたのお宅のメインテレビは、いつ地デジに対応させましたか？

※地デジ対応のテレビを購入した時期もしくはチューナーなどで地デジ対応させた時期をお答えください。



### ■ 地デジにした動機は、「薄型テレビがほしかったから」が46%で最多。

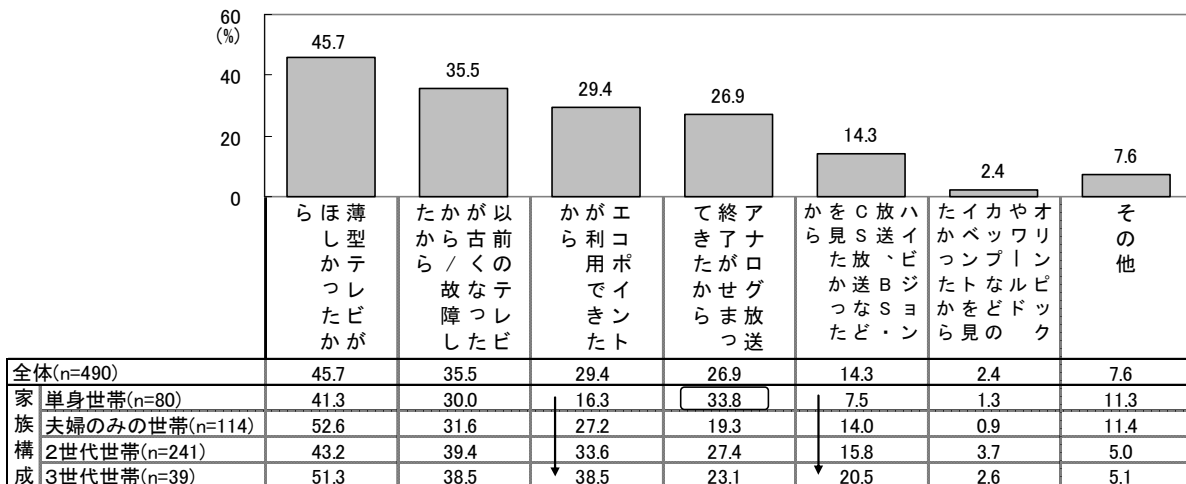
主利用のテレビを地デジにした動機を尋ねたところ、「薄型テレビがほしかったから」が46%で最も多く、次いで「以前のテレビが古くなったから/故障したから」が36%となっています。

家族構成別に見ると、世帯数が多いほど「エコポイントが利用できたから」「ハイビジョン放送、BS・CS放送などを見たかったから」が多くなっています。単身世帯では「アナログ放送終了がせまってきたから」が34%と他属性に比べ多く、あわてて買い替えた様子が窺えます。【図4】

【図4】テレビを地デジ対応させた時の動機

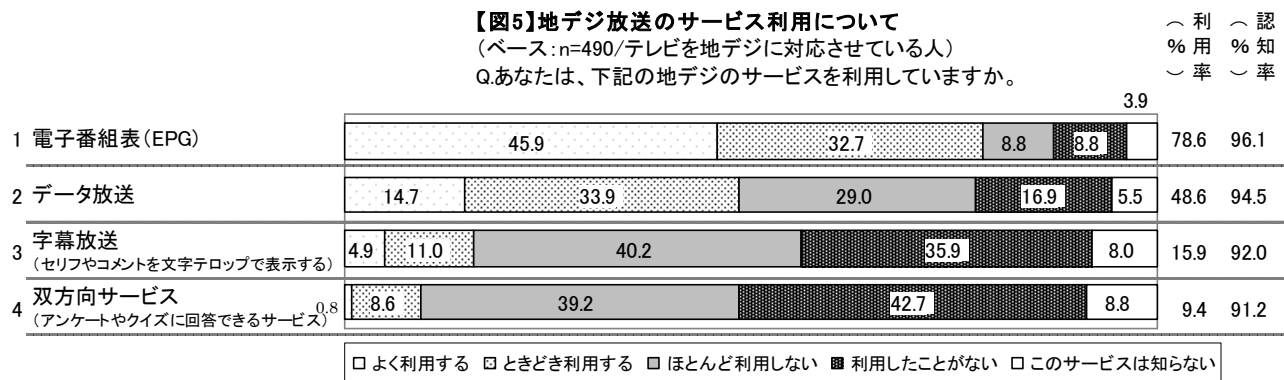
(ベース：n=490/テレビを地デジに対応させている人)

Q.あなたのお宅のメインテレビを地デジに対応させた時の動機として、あてはまるものをお知らせください。(複数回答)



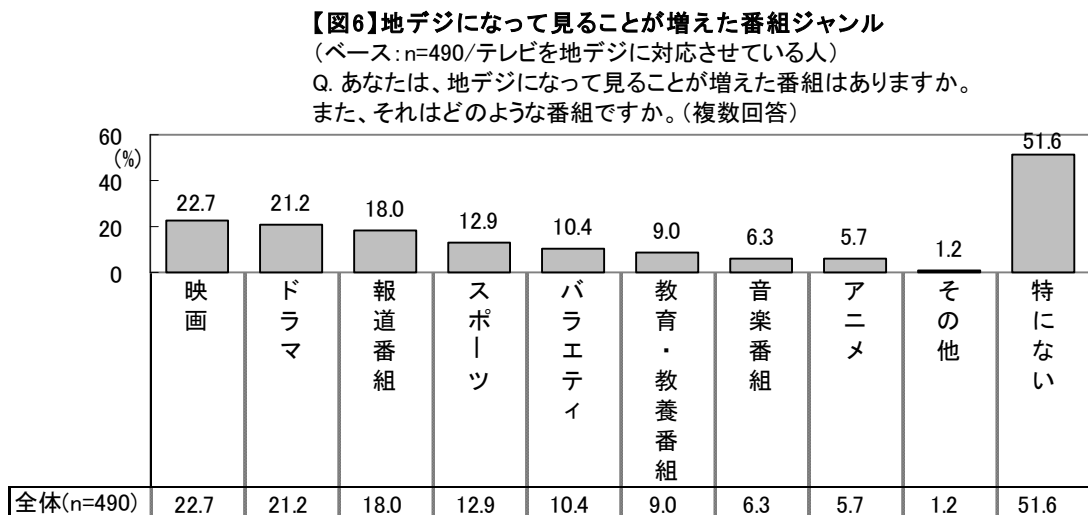
■ 「電子番組表 (EPG)」の利用率は79%

下記に示した地デジ放送のサービスの利用について尋ねました。いずれのサービスにおいても90%以上の認知率となっています。利用率(よく利用する+ときどき利用する)を見ると、「電子番組表(EPG)」は79%で約8割でした。「データ放送」は49%、「字幕放送」は16%、「双方向サービス」9%となっています。【図5】



■ 地デジになって見るが増えた番組ジャンルは、「映画」「ドラマ」が各々2割超。

地デジになって見るが増えた番組ジャンルを尋ねたところ、「映画」が23%、「ドラマ」が21%、「報道番組」が18%となっています。【図6】

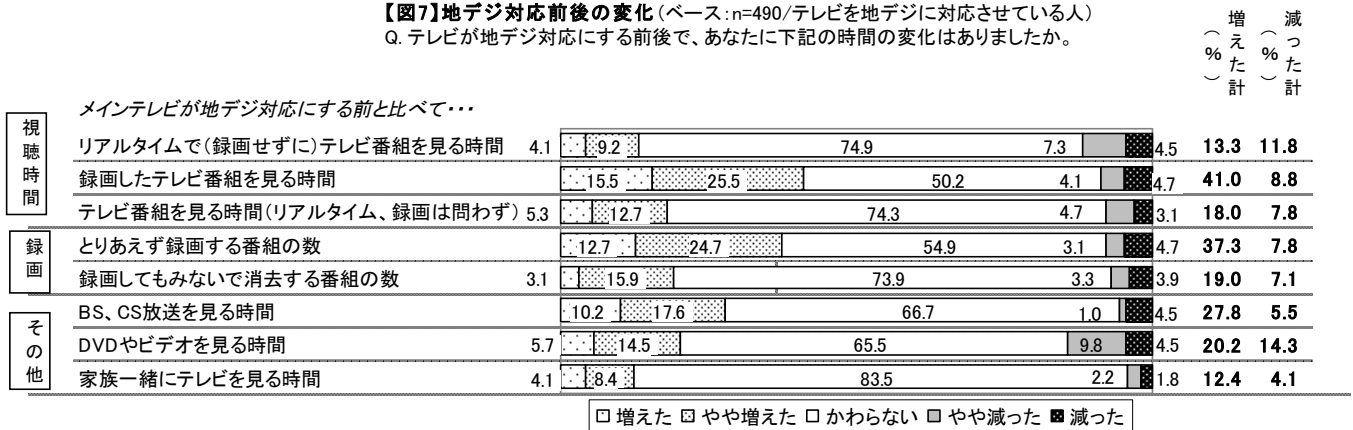


## ■ 地デジになって‘テレビ番組を見る時間’が「増えた」18%

自宅のテレビを地デジ対応させた前後でのテレビ視聴の変化について尋ねました。

‘リアルタイムでテレビを見る時間’が「増えた（増えた+やや増えた）」という回答は13%、‘（録画、リアルタイムは問わず）テレビを見る時間’が「増えた」は18%、‘録画したテレビ番組を見る時間’については「増えた」という回答が41%でした。また、‘とりあえず録画する番組’が「増えた」は37%、‘BS、CS放送を見る時間’が「増えた」は28%となっています。地デジ対応により、機能性の高いテレビへの買い替えや録画機器の購入が進みテレビ視聴スタイルが多様化しているようです。【図7】

【図7】地デジ対応前後の変化（ベース：n=490/テレビを地デジに対応させている人）  
Q. テレビが地デジ対応にする前後で、あなたに下記の時間の変化はありましたか。



## ■ 地デジ放送の満足度は74%

「高画質・高音質」には76%、「EPG」には56%、「データ放送」には37%の人が満足

地デジ対応を終えた人に、地デジ放送に対する満足度について尋ねたところ、「満足（満足+やや満足）」と回答した人は74%となりました。【図8】

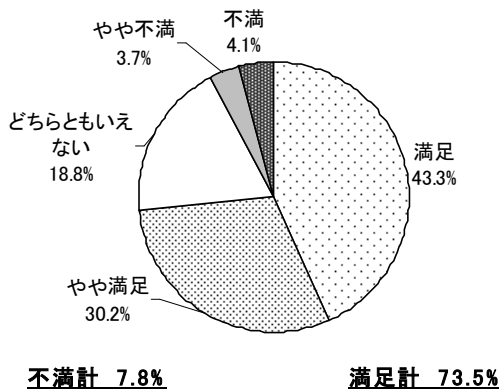
また、地デジに満足している点について尋ねたところ、「高画質・高音質」に関しては76%、「テレビ画面で番組表が見れる（EPG）」は56%、「データ放送」は37%の人が満足しています。

【図9】

【図8】地デジ放送の満足度

（ベース：n=490/テレビを地デジに対応させている人）

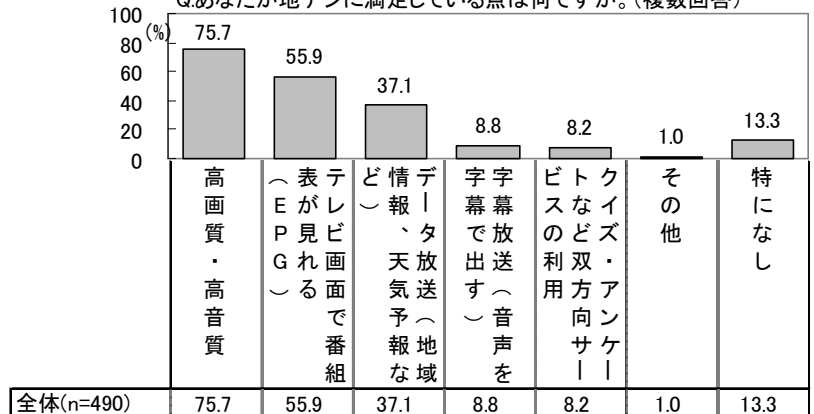
Q. 地上デジタルテレビ放送（地デジ）の満足度をお聞かせください。



【図9】地デジ放送に満足している点

（ベース：n=490/テレビを地デジに対応させている人）

Q. あなたが地デジに満足している点は何ですか。（複数回答）



### Ⅲ. メディア接触について

#### ■ テレビの視聴時間：1日平均で、平日3時間24分、休日4時間36分

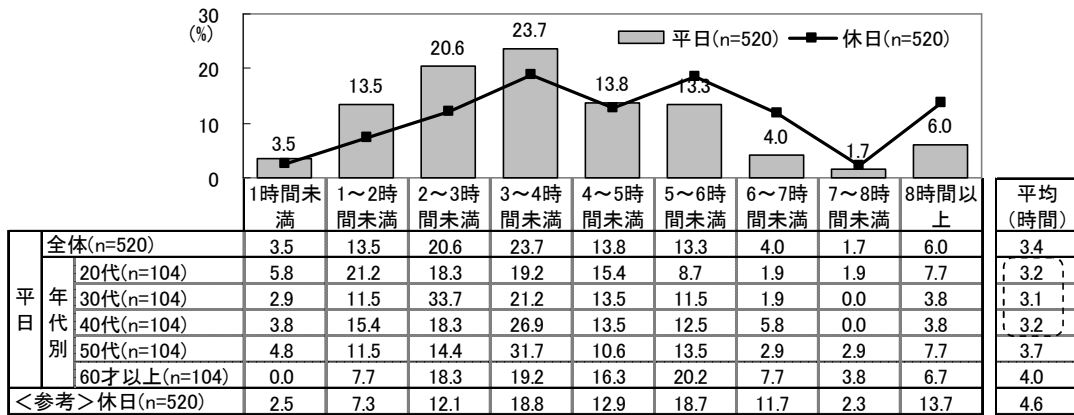
テレビの視聴時間について尋ねたところ、平日では「3～4時間未満」が最も多く23.7%、次いで「2～3時間未満」が21%となっています。平均視聴時間は平日で3時間24分、休日で4時間36分でした。

年代別に見ると、20～40代は50代以上に比べて、テレビの平均視聴時間が30分以上短くなっています。

【図10】

【図10】テレビの視聴時間

Q. あなたは、どのくらい1日にテレビを見ますか。  
平日・休日に分けてお知らせください。※単位は時間でお答えください。



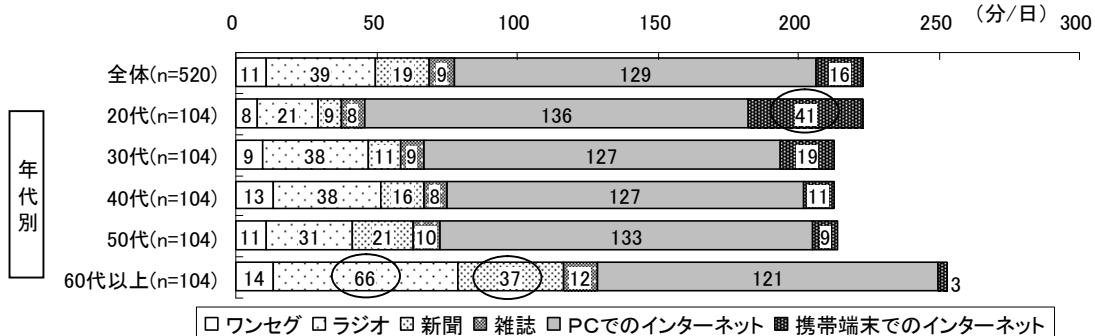
#### ■ 年代別メディア接触時間、20代は「携帯端末でのネット」、60代以上は「ラジオ」「新聞」が他年代より多い

テレビ（ワンセグ除く）以外の1日あたりのメディア接触時間について尋ねたところ、「PCでのインターネット」が129分で最も長く、次いで「ラジオ」が39分、「新聞」が19分、「携帯端末でのインターネット」が16分、「ワンセグ」が11分、「雑誌」が9分となっています。

年代別に見ると、20代では「携帯端末でのインターネット」が41分、60才以上では「ラジオ」が66分、「新聞」が37分と他年代に比べ長くなっている点が特徴的と言えます。【図11】

【図11】テレビ以外のメディア接触時間

Q. あなたは、下記のメディアにどのくらい接触していますか。  
1日の平均時間(単位は分)でお答えください。



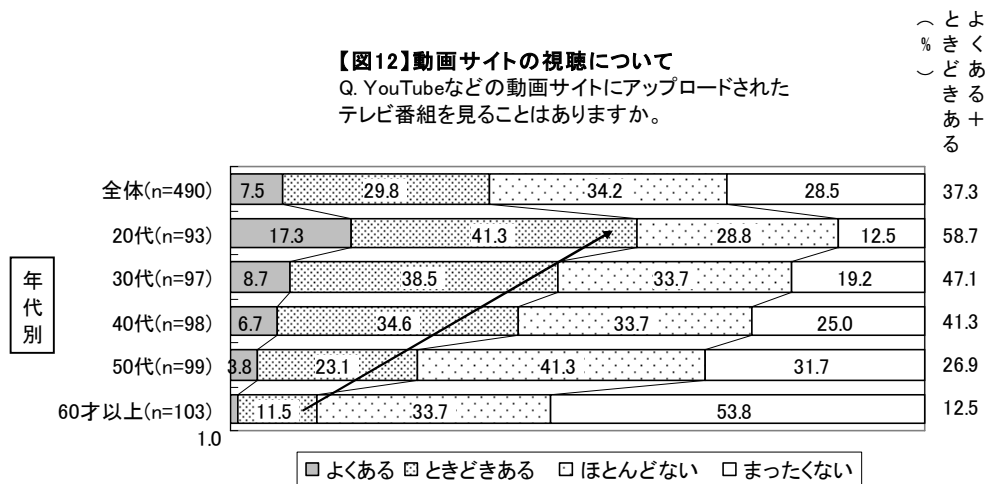
※インターネットを通じて調査を行っていることを考慮してください。

■ 動画サイトにアップロードされたテレビ番組を見る人は、37%

YouTube などの動画サイトにアップロードされたテレビ番組を見ることがあるか尋ねたところ、「よくある」と回答した人は8%、「ときどきある」は30%となり、合わせて37%でした。

年代別に「よくある」と「ときどきある」を合わせた割合を見ると、若年層ほど高く 20 代では 59%に達しています。

若年層ではテレビの視聴時間が比較的短くなっていましたが、動画サイトでのテレビ番組の接触は若年層ほど多くなっています。世代間で、テレビ番組との関わり方に違いがある様子が窺えます。【図 12】



■ 「地デジになってテレビが便利になった」約6割

テレビに対する態度、考え方について尋ねました。「あてはまる(あてはまる+ややあてはまる)」の割合を見ると、「楽しみにしている番組がある」「ニュースはテレビで知ることが多い」は各々80%以上、「地デジになってテレビが便利になった」という回答が62%となっています。【図13】

【図13】テレビに関する態度、考え方について(n=520)  
計(%)あてはまる  
Q. 下記のテレビに関する事項について、あなた自身にあてはまるものをそれぞれお答えください。

1 楽しみにしている番組がある	39.2	43.5	11.9	5.4	82.7
2 ニュースはテレビで知ることが多い	40.0	41.2	14.4	4.4	81.2
3 地デジになってテレビが便利になった	22.3	40.0	23.3	14.4	62.3
4 朝起きるとひとまずテレビをつける	31.7	27.5	19.4	21.3	59.2
5 テレビがないと生活に支障がある	23.7	33.5	30.2	12.7	57.1
6 テレビをみながらPCや携帯でネット接続する	25.4	28.8	23.7	22.1	54.2
7 帰宅するとひとまずテレビをつける	27.5	26.2	24.2	22.1	53.7
8 テレビを時計やBGMとして利用することが多い	17.1	32.5	28.8	21.5	49.6
9 友人とテレビ番組のことがよく話題になる	6.5	30.8	42.1	20.6	37.3

あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

年代別に見ると「楽しみにしている番組がある」「ニュースはテレビで知ることが多い」は60代以上で90%以上となっており、高齢者においてテレビが欠かせない娯楽であると同時に貴重な情報源となっているようです。一方、「テレビがないと生活に支障がある」では20~30代で約50%と40代以上に比べ低く、若年層におけるテレビへの依存度の低さが表れています。【図14】

【図14】年代別のテレビに関する態度、考え方

	1.楽しみにしている番組がある				2.ニュースはテレビで知ることが多い			
全体(n=520)	39.2	43.5	11.9	5.4	40.0	41.2	14.4	4.4
20代(n=104)	43.3	32.7	19.2	4.8	30.8	36.5	25.0	7.7
30代(n=104)	29.8	51.0	11.5	7.7	24.0	51.9	17.3	6.7
40代(n=104)	40.4	44.2	11.5	3.8	44.2	40.4	13.5	1.9
50代(n=104)	46.2	35.6	9.6	8.7	47.1	38.5	10.6	3.8
60代以上(n=104)	36.5	53.8	7.7	1.9	53.8	38.5	4.8	1.9

	5.テレビがないと生活に支障がある			
全体(n=520)	23.7	33.5	30.2	12.7
20代(n=104)	23.1	26.0	31.7	19.2
30代(n=104)	21.2	29.8	32.7	16.3
40代(n=104)	26.0	40.4	27.9	5.8
50代(n=104)	28.8	31.7	24.0	15.4
60代以上(n=104)	19.2	39.4	34.6	6.7

あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない

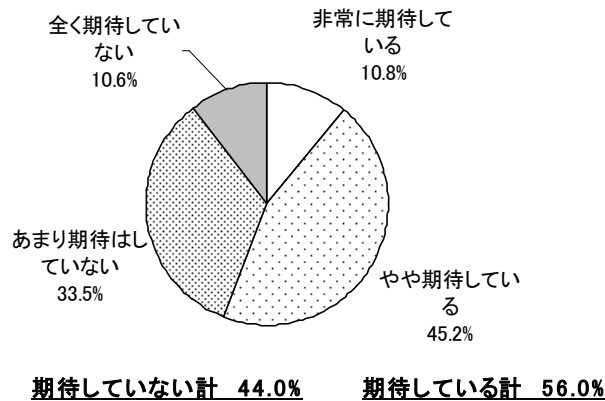


## ■ 今後のテレビ放送に「期待している」人は56%

7月24日の地デジ完全移行をふまえ、今後のテレビに対する期待度について尋ねました。「非常に期待している」と回答した人は11%、「やや期待している」と回答した人は45%となっており、合わせて56%の人が今後のテレビに対して期待しているようです。【図15】

どのようなことに期待しているか具体的に尋ねたところ、「放送と通信の融合」「双方向のやりとりで視聴者参加型の番組が増えること」「テレビで買い物等が簡単にできるようになる」「テレビ画質が向上したことを意識した番組作り」「チャンネル数が増えること」など、様々な意見があがりました。

【図15】地デジ放送の期待度(n=520)  
Q. 特例地域を除いて7月24日から、完全に地上デジタルテレビ放送に移行します。地デジになったことで、今後のテレビへの期待度をお答えください。



## ■ テレビに関する思い出は‘チャンネル争い’ ‘家族団らん’ ‘東京オリンピック’等様々

テレビに関する思い出・エピソードを尋ねました。一部抜粋してご紹介します。【図16】

【図16】テレビに関するエピソード・思い出(自由回答/一部抜粋)

Q. 7月24日の正午をもってアナログ放送は停波となります。ブラウン管テレビ、白黒テレビなど昔のテレビに関する思い出・エピソードをご自由にお書きください。

コメント	性別	年齢(才)
まだテレビが一家に一台だった時代、チャンネルの奪い合いが懐かしい。リモコンの始まる時、チャンネルのダイヤルそのものがリモコンで回る機種があった。結構面白かった。	男性	26
引っ越しの時重かった。カタチが箱型なので部屋の端にしか置けなかった。VHS録画で何度も重ね撮りして画質悪くなくても見続けた映画とか懐かしい。	男性	27
多機能化でチャンネルの取り合いが無くなった。子供の頃は回すチャンネルの部品が引っ張れば抜けたので文字通りチャンネルの取り合いをしていた。	男性	48
約50年前、白黒テレビが我が家へ届いたとき、それまで映画しか見たことがなかったので、動画が我が家でも見られるようになった感動は忘れられない。	男性	57
東京オリンピックのころカラーになったが、その頃のテレビは大きなスピーカーが付いていたり扉がついていたり、まるで高級家具のような物があったのが記憶にある。	男性	62
プロレスや相撲中継を、テレビのある近所の家に見に行ったこと。テレビ画面に色フィルターを付けて"カラーテレビ"の気分にしたこと。テストパターンで色や画像を調整したこと。各家々で独特の色があったこと。懐かしき良き時代でした。	男性	62
昔、現在の天皇の結婚式パレードを白黒で見た時代が懐かしい。東京オリンピックを初めてカラーで見て感動したり相撲中継を見て まわしが カラフルな事がわかった時、驚いて見たのを思い出した。まわしは全て黒と思っていた。	男性	63
物心ついたときから実家にあったブラウン管テレビは冬場に画面が上下に動いてしまい、叩いて直していましたが、最後には小さく火を吹いてその仕事を終えました。	女性	24
私が小さいころ、家には14インチのテレビが1台。家族全員で居間でテレビを見ていました。今では家に6台あり、すべてが30インチ以上。好きなテレビをそれぞれの部屋で見えています。裕福になったのか、貧しくなったのか。	女性	33
高校生のときのお年玉で初めて自分のお金で買ったのが9800円の15インチのブラウン管のテレビ。今まで見られなかった深夜テレビを観たりして少し大人の世界を知り、my TVを堪能した記憶があります。電源を消し忘れたまま寝てしまっただけで何度母に怒られたことか…。	女性	34
昔は小さい14のテレビを家族で囲んで土曜日のドリフを見るのが好きでした。家族そろってね…今は亡き 母の事を思い出します。	女性	40
ブラウン管テレビは重い。引っ越しのたびにテレビを運ぶのに苦労したけれど、これからは薄型なので持ち運ぶのが楽になってうれしい。また、子供のころ、ガチャガチャ回すチャンネルだったので姉妹とチャンネル争いをした。ああいうことはもうないんだな、と思います。	女性	40
子供のころにチャンネルを回して白黒のテレビをみえました。一台しかなかったもので、いつも皆が一部屋で過ごしていた記憶があります。昭和のよい思い出です。	女性	47

【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内 100 万人を超えるマクロミルモニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」など様々なネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル  
 本社 ■東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075  
 URL ■www.macromill.com  
 設立 ■2000年1月31日  
 資本金 ■15億9,785万円 ※2010年6月末現在  
 上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）  
 代表者 ■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉  
 従業員数 ■542名 ※2011年6月末現在  
 事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクロミル 広報担当：大野  
 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075  
 TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」

